

事 業 計 画 書

I 平成31年度基本方針

豊田市文化振興財団は公益財団法人として、豊田市における文化及び芸術の振興、青少年の健全な育成の推進及び生涯学習の推進に関する事業を行い、もって創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現に寄与することを目的としています。

平成31年度は、当財団が掲げる「第2次公益経営戦略ビジョン（平成29年度～平成33年度）」に示した取り組みの3年目となり、「あいちトリエンナーレ2019」及び「ラグビーワールドカップ2019」が開催され、国内外から多くの訪問客が見込まれます。そこで、当財団が有する文化芸術、青少年健全育成、生涯学習の3分野に関する市民や各種団体との事業連携をより一層強化させ、来訪者をおもてなしする多彩な事業を開拓することで、これら国際イベント等の成功に貢献します。

1 文化及び芸術の振興

- (1) 平成31年度も「第2次公益戦略ビジョン」に示した重点取組施策にある「文化芸術にふれる機会の提供」、「次世代を担う子どもたちの豊かな感性の育成」、「市民の文化活動や交流の推進」、「文化芸術による地域創世の推進」の実現を目指し、市民文化会館、コンサートホール・能楽堂を始め、小中学校、地域などにおいても、多彩な事業を開拓します。
- (2) 「ラグビーワールドカップ2019」及び「あいちトリエンナーレ2019」と連携協力し、豊田市の文化芸術によるおもてなし事業を実施することにより、国内外からの来訪者の満足度を高め、楽しんでいただくとともに、参加者・活動者の交流を促進し、レガシーの創出を図ります。

2 青少年の健全な育成の推進

- (1) 「第2次公益経営戦略ビジョン」にある「青少年の自主性・主体性の育成」、「青少年の社会活動の推進」を進めるため、青少年センターでは、若者を取り巻く環境の変化に対応した事業に取り組み、まちづくり提案やボランティア活動など、社会活動の機会を提供し、学校や学生との連携強化に努めます。また、青少年の課題である、未婚・晩婚化や教育格差解消に対応した事業も実施します。

「多様な野外活動の推進」を進めるため、総合野外センターでは、野外活動を通して、子どもたちの豊かな心と社会性を育みます。また、親子ふれあい体験活動を通して、家族の絆を深めるとともに、家族間の交流を図ります。

「科学・ものづくりの機会の充実」を進めるため、産業文化センター（とよた科学体験館）では、サイエンスショー、ミニワークショップを始め、科学及びものづくりの芽を育む事業を実施します。

- (2) 青少年センターの登録サークル及び登録グループが「ラグビーワールドカップ2019」及び「あいちトリエンナーレ2019」を盛り上げるために、事業PRやおもてなしを企画した活動に対して補助金を交付します。また、産業文化センターでは、あいちトリエンナーレ2019の会場となる「喜楽亭」を盛り上げるため、施設の特色を生かした事業を実施します。

3 生涯学習活動の推進と地域活動の支援

- (1) 交流館では、豊田市まちづくり条例に掲げる「共働によるまちづくり」を推進し、自立した地域社会の実現を目指します。また、市民活動の促進、市民活動の支援により、地域の「学びの場、交流の場、活動の場」としての役割の実現と公益的な活動を発展させていくため、コーディネート支援機能の強化を図ります。
- (2) 事業面では、多世代が暮らしやすい地域づくりの支援を行うため、地域住民や市民活動団体と連携し、行政や団体と情報共有を図りながら、あらゆる世代が交流できる場を創出します。「学びの循環」のひとつとして、市民のやりたい気持ちを形にする支援を行い、地域づくりにつなげます。また、地域の**絆**の大切さを深め、地域力を引き出すため、コミュニティ会議や地域団体などと共に「交流館祭・ふれあいまつり」を開催します。
- 平成27年度から取り組んでいる「交流館カルテ」の充実を図り、「人・もの・場所」をつなぐコーディネートに具体的に活用できるように継続的な更新、積上げを行い、「地域の特性・現状・課題・目指す姿・事業のねらい」を明確化し、地域実情にあった事業展開をします。
- (3) 運営面では、住民や利用者の意向を反映し、地域の実情や地域特性に応じた運営を進めるため、運営委員会を積極的に活用します。また、各交流館が核となり、地域の人材とニーズを結びつけることができるよう、コミュニティ会議、学校、各種団体、民間事業者等と連携して、地域情報の収集と発信を行い、幅広い世代の地域活動の輪とネットワークを広げ、地域力の向上を目指します。
- (4) とよたシニアアカデミーでは、当財団が長年の交流館運営で培った生涯学習事業運営のノウハウを生かし、シニア世代を対象とした事業を実施し、地域で活躍するための学び、交流、体験、情報提供の機会を提供します。

4 安全、安心を第一とした施設管理能力の維持・向上

公共施設の管理運営を任せられた指定管理者として、全職員が利用者の安全、安心の確保を第一として、日常点検や定期巡回等を実施し、日々の改善と早期の異常発見により安全管理に努めます。

さらに、市民の財産である公共施設を大切に守り運営するために、細かな修繕の積み重ね、施設の延命を考えた長期修繕計画の作成、長年の管理運営実績等から得られたノウハウを次世代の財団職員に継承し、施設管理能力を維持・向上させるとともに、豊田市に対して適宜的確な具申を行います。

5 自律した財団経営の推進

自主財源を確保し市民に還元するために、自主事業（公益目的事業）を充実させます。そのため、賛助会員の継続や新規加入による支援者の拡大、飲料水の自動販売機収入、文化情報誌やホームページへの広告料収入、豊田市以外からの助成金や補助金の獲得などにより、安定した自己財源を確保します。

II 平成31年度事業計画

1 文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業 (定款第4条第1号事業)

音楽専門ホールを始めとする文化施設等を活用し、文化・芸術の振興を図るため、舞台芸術を中心とした自主公演や、芸術分野（絵画、書、写真、工芸等）における作品の展示会を実施することで、市民の方々に文化・芸術に直接触れる機会と場を提供し、質の高い文化・芸術の創造と発信、普及を図ります。

(1) 文化・芸術に触れる機会を提供する事業

事業数 67事業

小川国亞起豊田芸術選奨受賞記念展（文化事業課）

豊田文化奨励賞・豊田文化新人賞受賞者記念展（文化事業課）

とよたこども創造劇場（文化事業課）

農村舞台アートプロジェクト2019（文化事業課、市民文化会館）

宝塚歌劇全国ツアー豊田公演（市民文化会館）

劇団四季ファミリーミュージカル（市民文化会館）

朗読公演シリーズ恋文（市民文化会館）

ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場「フィガロの結婚」（コンサートホール・能楽堂）

ラファウ・ブレハッヂピアノリサイタル（コンサートホール・能楽堂）

さつき能、菊月能、狂言づくし（コンサートホール・能楽堂）

小中学校等アウトリーチ事業（コンサートホール・能楽堂）

ロビー展示（視聴覚ライブラリー）

映画塾（視聴覚ライブラリー） 他

2 文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業（定款第4条第2号事業）

文化・芸術に関する分野の人材を育成するため、受講者や参加者を募り、講座、体験活動及び競技会を通して、文化・芸術に関する知識・技能の習得を図る事業を実施します。

(1) 文化・芸術に関する専門知識・技能の習得を目的とした講座を行う事業

事業数 17事業

とよた市民アートプロジェクト（文化事業課）

歌舞伎伝承館歌舞伎事業（文化事業課）

舞台芸術人材育成事業とよた演劇ファクトリー（文化事業課、市民文化会館）

ムービーづくりに挑戦（視聴覚ライブラリー）

大人のためのクラシック講座（コンサートホール・能楽堂）

能狂言が見たくなる講座（コンサートホール・能楽堂） 他

(2) 文化・芸術の様々な技能の習得を目標とした体験活動を行う事業

事業数 5事業

- おいでんアートおもてなし事業（文化事業課）
- 文化活動者派遣事業（文化事業課、市民文化会館）
- オルガン演奏体験講座（コンサートホール・能楽堂）
- 能楽入門講座（コンサートホール・能楽堂） 他

(3) 文化・芸術に関する技術・技能の習得を目的とした競技会を行う事業

事業数 3事業

- 全日本かるた選手権大会（文化事業課）
- とよたふれあい将棋フェスティバル（文化事業課）
- とよた囲碁まつり（文化事業課）

3 文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業（定款第4条第3号事業）

地域住民の主体的、創造的な文化・芸術活動を支援・奨励するため、文化・芸術の振興に功績のあった個人や団体を表彰します。また、コンクールを実施して個々の文化活動の促進を図り、さまざまな文化団体等への助成を行うことによって団体の活動の活性化を図ります。

(1) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため表彰を行う事業

事業数 1事業

- 平成31年度豊田市文化振興財団大会（文化事業課）

(2) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するためコンクールを行う事業

事業数 4事業

- 市民短歌大会、市民俳句会秋季大会、とよた連句まつり（文化事業課）
- とよたビデオコンテスト（文化事業課、視聴覚ライブラリー）

(3) 地域住民の主体的、創造的な芸術活動を支援・奨励するため助成を行う事業

事業数 2事業

- 市民文化活動助成事業（文化事業課）
- イルミネーションストーリーin とよた（文化事業課）

4 地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業（定款第4条第4号事業）

地域文化に係る調査・資料収集を行い、その情報を広く市民の方々に提供し、もって地域文化の保存、伝承及び普及を図ります。

(1) 地域文化の保存、伝承及び普及を図るための調査及び資料収集を行う事業

事業数 1事業

とよた定点観測（視聴覚ライブラリー）

(2) 地域文化の保存、伝承及び普及を図るための情報の提供を行う事業

事業数 5事業

文化情報誌「カレント」発行（文化事業課）

C A T V 文化情報番組制作「豊田文化アワー」（文化事業課）

定点観測「平成のとよたの街並み」（視聴覚ライブラリー）

出張映画会（視聴覚ライブラリー） 他

5 青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業（定款第4条第5号事業）

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化するなか、青少年の健全な育成を図るためにには、家庭、学校、地域社会が連携を密にし、子どもたちの自立と社会参加を促す努力を重ねることが求められています。青少年育成施設等を活用して青少年の健やかな成長を育むため、様々な体験活動を実施し、併せて自立支援・相談体制を強化し、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供します。

(1) 青少年の健全育成を図るための機会の提供を行う事業

事業数 61事業

若者の社会参加応援事業（青少年センター）

高校生ボランティアスクール（青少年センター）

小中学校等の野外活動における直接指導（総合野外センター）

山の子里山学級、六所のつどい、キッズキャンプ（総合野外センター）

サバイバル防災キャンプ、親子自然体験塾（総合野外センター）

星空散歩ライブ、出前天体観測会（産業文化センター）

サイエンスショー、親子ものづくり講座（産業文化センター）他

6 青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業（定款第4条第6号事業）

青少年の健やかな成長を育むため、豊田市青少年音楽3団体、子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの青少年団体の運営を側面的に支援し活動の活性化をサポートします。

(1) 音楽活動を通じて青少年の情操教育を図る事業

豊田市青少年音楽活動実施事業

演奏活動を通して青少年の豊かな情操を養うとともに、定期演奏会、イベント出演などを通して社会参加を果たすことで、豊田市の青少年の音楽活動の中心となり、音楽文化の向上に寄与します。

豊田市少年少女合唱団（文化事業課）

豊田市ジュニアマーチングバンド（文化事業課）

豊田市ジュニアオーケストラ（コンサートホール・能楽堂）

(2) 青少年団体の育成支援を行う事業

レクリエーション団体指導者派遣事業（青少年センター）

豊田市青少年団体傷害互助会事業（青少年センター）

子ども会事務支援（青少年センター）

7 生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業（定款第4条第7号事業）

生涯学習施設を活用して、豊かな生涯学習社会を実現するため、幅広い年代の市民の高度で多様な学習要求や現代的課題（健康、環境、子育て、地域課題等）に対応した講座・セミナーを開催し、市民自らが主体的に関わることができる生涯学習活動の機会と場を提供します。

(1) 市民に生涯学習の機会を提供する事業

ア 家庭教育事業、子ども・高齢者向け事業、環境・防災・防犯事業、ボランティア養成事業等（交流館）

事業数 220事業

市民一人ひとりが自分らしく充実した社会生活を営むため、生涯にわたり、いつでもどこでも自由に学び活動できる機会を提供します。また、地域活動の拠点、地域交流の場として、地域住民がお互いにつながりを持ちながら、地域のために自らが持つ力を発揮し合う場を提供します。

特に地域住民の交流機会をコーディネートし、さらに地域の特徴を生かしながら、地域の人材をつなげ、市民同士の成長を促進し、地域活動の輪を育てる取組みや新たな利用者の開拓を目指した取組を進めます。

これまで交流館を利用していなかった企業等の事業者や市民団体を含め、多様な主体による新しい事業展開を支援し、地域の学びや交流の機会を創出する

とともに、各館交流館の特色や重点的に取り組んでいる事業が明確になるよう、メリハリのある事業展開を行います。

また、事業企画の段階から市民の参画を取り入れ、事業に市民自身が能動的にかかわる機会を積極的に作ります。

イ とよたシニアアカデミー

事業数 3事業

とよたシニアアカデミー通年コース（環境農学科、文化振興学科、健康増進学科）、専門コース、はじめの一歩講座（とよたシニアアカデミー）

8 公益目的の推進に資する事業（定款第5条事業）

豊田市では地域住民の主体的運営によるコミュニティ会議が中学校区を単位として組織され、その事務局業務は、中学校区ごとに設置されている交流館の指定管理者である当財団が担っています。地域社会の健全な発展を促すため、地区コミュニティ会議に対する相談、助言その他必要な支援を交流館が行います。

(1) 地域社会の健全な発展を促すため、地区コミュニティ会議に対する相談・助言、その他必要な支援を行う事業

ア 地区コミュニティ会議事務局（交流館）

住民が主体となって住みよいまちづくりや地域課題解決を進める地区コミュニティ会議の事務局として、地区コミュニティ活動が継続的に行われるよう、地域会議や他の地区コミュニティ会議の取組の情報を伝えるなど、側面から活動を支えます。

地区コミュニティ活動をきっかけに、その後も地域の中で活動に関わる人材が増え、多様な主体が楽しみながら、まちづくりに関わる環境づくりに取り組みます。

(2) 指定管理者として管理運営を受託した施設等を公益目的事業以外に貸与する事業

ア 各指定管理施設の管理運営

関係法令・条例等を遵守しつつ、市民の利益を第一優先に考え柔軟で弾力的な施設運営を推進します。また、公の財産である公共施設を市民が安全・安心で快適にいつまでも利用できるよう、長期的視野に立った修繕計画や改修要望を豊田市に具申するとともに、きめ細かな施設運営を推進し、豊田市や市民の立場に立った、公平・公正な施設管理を推進します。

(3) 飲料水の販売に関する事業

ア 自動販売機等による飲料水の販売

市民サービスの一環として、当財団が管理運営している市民文化会館、総合野外センター、産業文化センター、青少年センター、視聴覚ライブラリー、教職員会館及び28の交流館において飲料水を販売し、利用者の利便性の向上を図るとともに、その収益を公益目的事業推進のために役立てます。

【9 会議】

(1) 評議員会

名 称	期日	会 場	内 容
6月定時 評議員会	6月	市民文化会館 会議室	平成30年度事業報告及び決算について 公益財団法人豊田市文化振興財団評議員の選任について 公益財団法人豊田市文化振興財団役員の選任について

(2) 理事会

名 称	期日	会 場	内 容
5月定時 理事会	5月		平成30年度事業報告及び決算について 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について ほか、
6月臨時 理事会	6月	市民文化会館 会議室	公益財団法人豊田市文化振興財団理事長の選定について 公益財団法人豊田市文化振興財団副理事長の選定について 公益財団法人豊田市文化振興財団専務理事の選定について
12月臨時 理事会	12月		平成31年度補正予算について ほか
3月定時 理事会	3月		平成32年度事業計画及び収支予算について ほか

(3) 監事会

名 称	期日	会 場	内 容
監事会	5月	市民文化会館 会議室	平成30年度業務及び会計監査

(4) 表彰審査会

名 称	期日	会 場	内 容
表彰審査会	3月	市民文化会館 会議室	平成32年度文化表彰・青少年表彰・特別表彰の選考について

(5) 文化振興委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回 文化振興委員 会	5月	市民文化会館 会議室	平成30年度事業報告について 平成31年度事業計画について 平成31年度モニタリング事業について ほか
第2回 文化振興委員 会	9月		平成32年度事業計画について ほか
第3回 文化振興委員 会	2月		平成31年度モニタリング事業の評価報告に ついて 平成32年度事業計画について ほか

(6) 青少年育成委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回 青少年育成 委員会	5月	青少年センタ ー会議室	平成30年度事業報告について 平成31年度事業計画について 平成31年度モニタリング事業について ほか
第2回 青少年育成 委員会	9月		平成31年度モニタリング事業の評価報告に ついて 平成32年度事業計画について ほか
第3回 青少年育成 委員会	2月		平成31年度モニタリング事業の評価報告に ついて 平成32年度事業計画について 平成32年度モニタリング事業について ほか

(7) コンサートホール・能楽堂企画運営委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回 企画運営委員会	7月	コンサート ホール 多目的ルーム	平成32年度基本方針について 平成32年度事業計画について ほか
第2回 企画運営委員会	9月		平成32年度事業計画について ほか
第3回 企画運営委員会	3月		平成31年度事業報告・総括について 平成32年度事業計画について ほか

III 平成31年度事業計画の附属明細書

1 文化事業課

文化活動のコーディネーターとして、多様なニーズやライフスタイルを大切に受け止め、市民や文化団体、又はアーティストや各種団体などと連携と共に、子どもから高齢者まですべての世代が輝き、活躍するまち、また人や地域などが文化でつながるまちづくりの実現を目指し、文化事業を実施します。

(1) 事業

「文化芸術にふれる機会を提供する事業」、「次世代を担う子どもたちの豊かな感性を育成する事業」、「市民の文化活動や交流を推進する事業」、「文化芸術による地域創生を推進する事業」の4つを重点施策とし文化事業を推進します。

「おいでんアートおもてなし事業」は、国内外から訪れる方が文化芸術にふれる機会として、ジャンルや参加世代の幅を広げ、新たな出会いを創出します。

「豊田市少年少女合唱団」、「豊田市ジュニアマーチングバンド」の運営と、学校への「文化活動者派遣事業」は、子どもたちの感性を育成する事業として発展継続します。人材育成と交流を目指す「演劇事業」では、目的の異なる3つの事業を体系的に展開します。

(2) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
【再開催】 小川国亜起豊田芸術選奨受賞記念展	5月～6月	2,000人	豊田芸術選奨受賞者の芸術を広く鑑賞いただく作品展を開催する。 作家及び作品を身近に感じる機会としてギャラリートークやワークショップを行う。	博物館等の展示 自主
とよた演劇祭	7月	400人	演劇アカデミー修了生を中心に市民が運営する演劇祭を開催する。	自主公演 自主
【新規】 豊田文化奨励賞・豊田文化新人賞受賞者記念 「次代を担うアーティスト展」	8月	1,000人	豊田文化奨励賞、豊田文化新人賞受賞者約20名の芸術について広く市民に鑑賞いただく作品展を開催する。	博物館等の展示 自主

10周年記念 農村舞台アートプロジェクト2019「アートで蘇るとよたの農村舞台群」	8月	3,000人	農村舞台を会場として、ライブとアートなど様々な文化芸術活動を展開し農村舞台の可能性を創造するとともに、地域の活性化を図る。 (アート展5か所、ライブ2か所) (市民文化会館と連携)	博物館等 の展示	自主
県文連芸能大会	9月	出演10人	西三河地区の文化協会と合同で舞台芸能祭を開催し、市内の愛好者の親睦と活動の活性化を図る。 (今年度会場：みよし市)	自主公演	自主
【隔年開催】 第16回豊田クラフト公募展	10月	1,500人	工芸作家と愛好家約130名が一堂に会しての作品発表を行い、活動の活性化と交流と連携を図る。	博物館等 の展示	自主
市民音楽祭2019	12月	1,200人	市民による参加型のジャンルを問わない音楽祭を開催する。	自主公演	自主
第30回歳末チャリティー作品展	12月	500人	文化団体から提供された500点を超える作品を廉価で販売し、その収益を福祉関係へ寄附する。	博物館等 の展示	自主
県文連美術展	12～1月	出品10人	県内の文化協会と合同で美術展を開催し、市内における新人の発掘と愛好者の活動の活性化を図る。	博物館等 の展示	自主
【新規】 地元芸術家による芸術作品マーケット	2月	1,000人	地元作家を知り芸術に触れ、作品を購入する機会として、作品展示及び即売会を開催する。	博物館等 の展示	自主
第44回お茶と花と文化講演の集い（お茶席、華展）	2月	2,000人	文化講演を聴き、お茶と花に親しみ伝統文化の普及を図る。お茶席を豊田茶友会、華展を豊田華道連盟の協力により開催する。（市民文化会館と連携）	博物館等 の展示	自主
市民ギャラリー展	5月～6月	1,000人	文化団体による作品展示を奨励し、ギャラリーの活性化を図る作品展を開催する。	博物館等 の展示	共催
とよたこども創造劇場	5月～11月	参加者延べ2,000人 公演600人	参加者約40名の青少年を対象に表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催する。	自主公演	共催
こどもによる日本の伝統芸能	7月	400人	小中学校で日本の伝統芸能を学ぶ約10校の子どもたちを集め発表会を行い、後世への伝統芸能の継承を図る。	自主公演	共催
第35回ジュニアプラスコンサート	11月	2,000人	小学校吹奏楽の演奏会を開催する。	自主公演	共催
吹奏楽フェスティバル2019	11月	1,200人	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高校吹奏楽の演奏会を開催する。	自主公演	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
【新規】地域の記憶	通年	300人	地域に伝わる昔話など歴史や魅力を発見し、作品を制作する。広く市民に紹介するため舞台公演を開催する。	講座、セミナー、育成・自主公演 自主
第58回全日本かるた選手権大会	4月	150人	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会に発展した大会を、全日本かるた協会と共に開催する。	競技会 自主
こども茶華道教室	6月～12月	参加者延べ180人	小・中学生を対象に茶道・華道の基本を学ぶ機会を提供する。(全6回)	講座、セミナー、育成 自主
民謡を唄う会	6月～8月	参加者延べ250人	民謡の持つ明るさ、楽しさを知るために、楽しく分かりやすい講習会を開催する。	講座、セミナー、育成 自主
文化活動者派遣事業(アウトリーチ事業)	通年	70校 5,000人	市内小中学校等へ出向き、文化活動者のワークショップを行い、児童・生徒が文化芸術に出会う機会を提供する。学校教育の総合学習に協力するとともに、文化芸術活動のファシリテーターを養成する。(市民文化会館と連携)	体験活動等 共催
とよた市民アートプロジェクト	通年	—	アートイベントを市民主導で作り上げることをきっかけにして、市民が積極的かつ継続的に文化芸術活動に関わることで、文化を創造し楽しむ風土を作るとともに、文化芸術を通じてまちづくりに参加する仕組みづくりと企画する側の人材育成を図る。(豊田市との共催)	講座、セミナー、育成 共催
舞台芸術人材育成・創造事業 とよた演劇ファクトリー	5月～2月	参加者延べ 1,200人 公演500人	参加者約30名により演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成する講座と公演を開催する。(市民文化会館と連携)	講座、セミナー、育成 共催
第51回市民民踊講習会	6月	1,200人	地域や職域で開催する盆踊り大会のため新作等を取り入れた踊りの講習会を開催する。	講座、セミナー、育成 共催
第15回とよたふれあい将棋フェスティバル	6月	300人	子どもによる将棋対局や指導将棋など親子ふれあいの機会提供と将棋の普及を図る機会を提供する。	競技会 共催

おいでんアートおもてなし事業 (名称・内容変更)	9～11月	延べ 10,000人	豊田の文化や伝統芸能を国内外に発信し、来訪者に「文化でおもてなし」を実践することで、多くの人に記憶に残る機会と市民の活躍の場の提供及び文化のすそ野拡大を図る。(ラグビーワールドカップ2019関連事業)	体験活動等	共催
秋季市民茶会	11月	1,000人	市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催する。	体験活動等	共催
第40回とよた囲碁まつり	2月	200人	クラス別の囲碁対局やプロ棋士の指導碁を通じて市民の交流を図る機会を提供する。	競技会	共催

【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
市民文化活動助成事業	通年	15事業	文化団体や市民の活動を様々な角度からサポートし、文化事業の活性化を推進する。	助成(応募型) 自主
平成31年度豊田市文化振興財団大会(文化表彰)・交流会	6月	300人	財団の基本方針を内外に示すとともに、地域の文化振興や青少年健全育成に業績を挙げた功労者を表彰する。	表彰、コンクール 自主
とよた連句まつり	11月	40人	公募による連句大会を開催する。	表彰、コンクール 自主
市民俳句会秋季大会	11月	50人	公募による俳句大会を開催する。	表彰、コンクール 自主
市民短歌大会	11月	50人	公募による短歌大会を開催する。	表彰、コンクール 自主
イルミネーションストーリー in とよた	11～1月	—	快適な都市空間を創出し、市街地の活性化を図る文化イベントへの支援を行う。	助成 自主
第31回とよたビデオコンテスト	12月	表彰式 50人	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰及びビデオ入賞者作品の発表会を開催する。 (視聴覚ライブラリーと連携)	表彰、コンクール 自主

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期日	人數	内 容	事業区分
C A T V 文化情報番組制作「豊田文化アワー」	通年	年 12 番組	地域文化を市民サイドから考える文化情報番組を制作、ひまわりネットワークで放映し情報の提供を行う。	調査、資料収集 自主
文化情報誌「カレント」発行	季刊	4 季刊 各 3,000 部	市内で開催されるあらゆる文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報の提供を行う。	調査、資料収集 自主

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	人數	内 容	事業区分
おいでんオープニング	7月	100 人	豊田おいでんまつりのオープニングイベントとして、ジュニアマーチングバンドのパフォーマンスを披露する。	体験活動等 自主
豊田市青少年音楽活動実施事業 豊田市少年少女合唱団運営	通年	団員数 125 人 定期公演 1,000 人	定期演奏会、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行う。	体験活動等 受託
豊田市青少年音楽活動実施事業 豊田市ジュニアマーチングバンド運営	通年	団員数 80 人 定期公演 1,500 人	定期演奏会、マーチング愛知県大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	体験活動等 受託

【その他事業】

事業名	期日	人數	内 容	事業区分
市民文化活動支援	通年	—	市民の文化活動に対する後援事務、文化団体の公演への P R 補助などを行う。	— 自主
豊田文化団体協議会運営	通年	—	市民が参画する協議会の運営事務や定期的な役員会、委員会を開催支援する。	— 自主
西三文協連絡協議会県文連総会	4月・5月	—	各団体が主導する美術展等の開催に豊田市民が参画できるよう情報収集と開催支援事務を行う。	— 自主
音楽練習場運営事業	通年	7 団体	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。	— 自主
【新規】 西三河文協連絡協議会 短詩型文芸誌 「やはぎがわ」発刊	通年	—	西三河地区の文化協会との合同文芸誌を文芸の発展継続のため 32 年度に発刊するため準備を行う。	— 自主

合 計

事 業 総 合 計	45事業	43,395人	
-----------	------	---------	--

2 市民文化会館

豊田市の文化芸術の拠点施設のひとつとして、創造性豊かで潤いと活力に満ちた市民生活の実現へ向けた取組を推進することにより、文化的賑わいを創出し、文化によるまちづくりに貢献します。そのために、市民が文化芸術に触れる機会の提供、市民の主体的な文化芸術活動の支援、「安全」・「安心」・「快適」な施設の提供に注力します。

(1) 事業

ホール施設の特色を活かして、音楽・演劇・芸能・講演などの優れた文化芸術の鑑賞事業を開催することにより、あらゆる人が文化芸術の良さを感じる機会を提供します。また、文化芸術を通じて地域課題に取り組み、市民や行政に信頼される事業を提供します。

今年度は、子どもや家族向け事業として「おかあさんといっしょ」、「劇団四季ファミリーミュージカル」、中高年向け事業として「岩崎宏美コンサート」、「宝塚歌劇全国ツアー 豊田公演」などの幅広い年齢層を対象とした鑑賞事業と、新たに「あしながおじさんプロジェクト」、「こども食堂にアーティストを」などの社会包摂や地域課題に取り組む事業を開催します。

(2) 施設運営

市民の主体的な利用に対しては、公平公正な運営基準の下、市民目線の心のこもったおもてなし対応と支援を行うと共に、利用者の意見・要望の把握に努め、より一層親しまれる施設となるよう努力します。

また、「安全」・「安心」・「快適」な施設の提供においては、職員の意識・能力・専門性を高め、日常的な設備点検により異常な兆候の早期発見、早期処置につなげ、修繕にかかる経費の縮減と施設の長寿命化を促進すると共に、利用者への影響が極力及ばないように努力します。

(3) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事 業 名	期 日	人 数	内 容	事 業 区 分
【新規】 とよた☆あしながおじ さんプロジェクト	通年	—	企業・団体・個人の協力のもと、当館事業の公演チケットを市内の親子にプレゼントし、音楽や伝統芸能の鑑賞機会を提供する。	自主公演 自主

おかあさんといっしょ ガラピコパーがやって きた!!	6月 30 日	3,000 人 (2回公演)	2~4歳児を対象とした教育エンターテイメント。お兄さんお姉さんと一緒に歌や体操、人形劇やアニメショーなどの公演を開催する。	主催公演	自主
劇団四季 ファミリーミュージカル	7月 25 日	1,300 人	"仲間の大切さ"や"生命の尊さ"、"勇気を持つ心"など、作品に込められたメッセージを家族で楽しみ、学び、絆を深めるミュージカルを開催する。	主催公演	自主
【新規】 アート de まちづくり 講演会	10月 6 日	300 人	【トリアンナーレ関連】 芸術がまちに与えるインパクトをテーマにした講演会を開催する。講演者として、平田オリザ氏を招聘し、著書「下り坂をそろそろと下る」を題材に、社会が緩やかに縮小していくことにどう向き合うか?を演劇や音楽、伝統芸能、地域創生の観点から考える。	自主公演	自主
宝塚歌劇全国ツアー 豊田公演	10月 30 日	3,000 人 (2回公演)	全国的に人気の、独身女性だけで構成されている宝塚歌劇団によるミュージカルとショーの公演を開催する。	主催公演	自主
【新規】 シリーズ恋文(朗読公演)	11月 4 日	300 人	可児市文化創造センター(ala)制作のシリーズ事業。 秋田県二ツ井町(現能代市)が全国公募した「恋文」を構成し、心を打つ手紙の朗読と、映像、ピアノの生演奏で紡ぐ、alaオリジナルの朗読公演を開催する。	主催公演	自主
岩崎宏美コンサート	11月 17 日	1,200 人	「ロマンス」や「センチメンタル」、「聖母たちのララバイ」など、多くのヒット曲を持ち、中高年に人気を博す、実力派のアーティストによるコンサートを開催する。	主催公演	自主
とよた寄席	1月 予定	400 人	市民ニーズの高い落語家等を招へいし、良質な伝統芸能に親しむ機会を提供する。	主催公演	自主
第44回お茶と花と文化 講演の集い(文化講演会)	2月 8 日 ・ 9 日	2,000 人 講演会 1,000 人 華展 500 人 お茶席 500 人	茶会・華展・講演会を同時開催し、それぞれの文化を紹介するとともに、文化について考える機会を提供する。講演会を文化振興財団、お茶席を豊田茶友会、華展を豊田華道連盟で担当し、市民参画の共働事業として開催する。(文化事業課と連携)	自主公演	自主

【新規】 こども食堂に アーティストを！	年 12 回	一	こどもを地域で見守り、地域で育てる活動の一環として、文化資本を受け渡すために、文化芸術のワークショップや演奏、演技の鑑賞機会を提供する。	自主公演	自主
【新規】 グッドアフタヌーンコンサート	未定 年 6 回予定	180 人 (30 人/回)	【ラグビー関連】 財団表彰を受けた市内演奏家やコンサートホール登録アーティスト等を文化会館レストランに迎えて、飲食を伴う演奏会を開催する。ラグビーW杯参加国にまつわる曲の演奏で開催を盛り上げる。	自主公演	自主
こころの劇場 劇団四季ミュージカル	7月 26 日	2,000 人 (2回公演)	市内の小学 6 年生を対象に、劇団四季の社会貢献活動「こころの劇場」に無料招待する鑑賞会を開催する。 (豊田市及び劇団四季との共催)	主催公演	共催
10周年記念農村舞台 アートプロジェクト 2019「アートで蘇るとよたの農村舞台群」	8月 4 日 ～18 日	3,000 人	農村舞台を会場として、ライブとアートなど様々な文化芸術活動を展開し、農村舞台の可能性を創造するとともに、地域の活性化を図る。(アート展 5 か所、ライブ 2 か所) (文化事業課と連携)	博物館等 の展示	共催

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事 業 名	期 日	人 数	内 容	事業区分
文化活動者派遣事業 (アウトリーチ事業)	通年	70 校 5,000 人	市内小中学校等へ出向き、文化活動者のワークショップを行い、児童・生徒が文化芸術に出会う機会を提供する。学校教育の総合学習に協力するとともに、文化芸術活動のファシリテーターを養成する。 (文化事業課と連携)	体験活動等 共催
舞台芸術人材育成・創造事業 とよた演劇ファクトリー	5月～2月	参加者延べ 1,200 人 公演 500 人	参加者 30 名により演劇人の養成及び演出、プロデューサー、広報など幅広い人材を育成する講座と公演を開催する。(文化事業課と連携)	講座、 セミナー、 育成 共催
【新規】 舞台お困りごと相談窓口	月 1 回	30 人 (5 人/回)	利用促進を目的に、舞台利用や発表会等の開催に関するお困りごと相談窓口を開催する。	講座、 セミナー、 育成 自主

合 計

事 業 総 合 計	16 事業	23,410 人	
-----------	-------	----------	--

(4) 利用予定

市民文化会館

施設名	件数	人数	利用内容
大ホール	220	160,000	演奏会・講演会・研究大会等
小ホール	250	55,000	ピアノ発表会・講演会等
展示室A	180	35,000	絵画・彫塑・書道・花展等
展示室B	180	20,000	"
リハーサル室・練習室	650	40,000	音楽・舞踊等各種リハーサル
会議室・和室	400	10,000	茶華道・会議等
計	1,880	320,000	

市民ギャラリー

施設名	件数	人数	利用内容
展示室A・B・C	300	22,000	絵画・彫塑・書道・花展等

総合計

総合計	2,180	342,000	
-----	-------	---------	--

3 視聴覚ライブラリー

主に映像に関する市民の文化・芸術活動を支援する施設として、その役割を果たします。講座などの開催を通じた映像文化への関心の向上、市民自らが取得した映像技術を生かした活動の活性化や、地域文化に関する調査及び情報の収集・発信に関する事業の展開を図ります。

(1) 事業

毎年4月1日を定点観測日と定め、豊田市街地開発や市駅周辺の変遷などを記録した、30年間分の映像を作品としてまとめ、『定点観測「平成のとよたの街並み』と題し、広く市民の皆さんに平成の豊田市を懐かしく振り返り、楽しんでいただく機会を設けます。

また、「夏休みふあみりー映画祭」、「映画塾」、「らいぶらりーたより」、「ホームページ」などの事業の展開により、市民を始め、学校教育現場、生涯学習分野（交流館・子ども会等）へ広く、映像媒体による地域文化情報を発信することに努めます。

過去に自主制作した「とよたの人物記」や「とよたのむかしばなし」などの活用を図り、郷土文化に触れる機会を提供します。また、各種講座などを通して、映像ボランティアの育成にも力を注ぎます。

(2) 施設運営

視聴覚教材、機材の貸出と貸館の業務だけでなく、利用上の相談、利用指導など、きめ細かな市民サービスに努めます。また、市民の文化活動を推進するため、利用者の皆様が、快適で安全、安心に利用していただけるよう、常に良好な状態を維持するとともに、市民の皆様により親しまれるよう、市民ニーズに沿ったサービスの提供と利用促進を目指します。

(3) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人 数	内 容	事業区分
ロビー展示	通年	4,000人	利用者の活動内容を紹介し、作品等を展示する。	自主公演 自主
映画塾	年3回	240人	映画のレクチャーを通じて人生の喜びや悲しみを知り、感動を得る教養講座を開催する。	自主公演 自主

夏休みふあみりー映画祭	8月	120人	ライブラリーの所有する地域文化などをテーマとした作品を人気アニメ映画と同時上映し、より多くの市民に周知する映画祭を開催する。	講座、セミナー、育成	受託
-------------	----	------	--	------------	----

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分	
アウトリーチ事業 映像による郷土学習	通年	200人	交流館など他施設と連携した講座などで、自主制作番組を活用した地域文化情報の提供をアウトリーチ形式で行う。	講座、セミナー、育成	自主
利用団体交流会	通年	30人	利用団体に当施設の活用方法について学んでいただくとともに、他グループとの交流を図る機会を提供する。	講座、セミナー、育成	自主
ムービーづくりに挑戦	年2回	24人	撮影・編集を通してビデオ制作を学ぶ講座を開催する。	講座、セミナー、育成	受託
ビデオ塾入門講座	年1回	20人	映像制作の専門家を講師に迎え、シナリオや映像構成等のワークショップを開催する。	講座、セミナー、育成	受託

【文化・芸術の振興に関する表彰、助成等を行う事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分	
第31回とよたビデオコンテスト	12月	60人	全国公募のビデオコンテストを開催し、表彰及びビデオ入賞者作品の発表会を開催する。(文化事業課と連携)	表彰、コンクール	自主

【地域文化に関する調査及び情報の提供を行う事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分	
【新規】 定点観測 「平成のとよたの街並み」	通年	-	平成2年から約30年、毎年4月1日を定点観測日と定め、市街地開発や豊田市駅周辺の変遷、風俗、ファッション等の移り変わりを記録した映像作品を広く市民の皆さんに視聴していただく。	調査、資料収集	自主
とよた定点観測	4月1日	-	毎年4月1日を観測日に定め、豊田市の変遷を写真とビデオで記録する。	調査、資料収集	自主

出張映画会	通年	200人	豊田市が自主制作した作品など地域の歴史にスポットをあて、高齢者を対象としてその時代の豊田市の様子や懐かしさを演出し上映する。	調査、資料収集	受託
らいぶらりーたより発行	年4回	-	ライブラリーの情報として、年4回たよりを発行し利用の促進を図る。	調査、資料収集	受託

合 計

事 業 総 合 計	12事業	4,894人	
-----------	------	--------	--

(4) 利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
教材・機材貸出	500	20,000	プロジェクター・DVD等貸出し
集会室・研修室 等	2,700	73,000	会議・研修会・講演会等
計	3,200	93,000	

4 コンサートホール・能楽堂

豊田市の音楽、伝統芸能の拠点施設として「本物の芸術・文化との出会い」、「伝統文化の継承」、「市民参加による芸術・文化の創造」を3本柱に、独自性のある魅力的な事業を展開し、音楽文化の向上と伝統文化の継承に努めます。

(1) 事業

元号が変わり新時代をにぎわす公演や事業を行います。世界一流の芸術家による公演、親しみやすい公演のバランスを重視しながら、独自性の高い事業企画を目指すとともに、ラグビーワールドカップ2019開催に合わせ、中心市街地のにぎわい創出を目的に、施設の特性を活かした発信性の高い事業と子どもから高齢者までの幅広い年代層や外国人などの市民を対象にした多様な企画を行います。また、あらゆる人が気軽にクラシック音楽や伝統芸能を楽しむことのできる事業を提供し、文化・芸術に興味を持つ市民層の拡大を図ります。

(2) 施設運営

市民の文化活動の促進を図るため、施設情報の充実と入手手段の簡易化により利用時の不安を解消するとともに、利用手続や利用方法において利用者側の立場に立った助言・指導を行います。また、利用者に施設運営・設備に関するアンケートを実施し、意見・要望を把握することで、より使いやすい安全で快適な施設運営に努めていきます。

(3) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【文化施設等を活用して、市民が文化・芸術に触れる機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人 数	内 容	事業区分
ロビー・コンサート	通年 (年22回)	2,400人	市内各地で市民演奏家によるコンサートを開催する。(参考館ロビー、市役所ロビー、出前コンサート等)	自主公演 共催
小中学校等アウトリーチ事業	通年 (年10回)	1,000人	ホールで招聘した演奏家が市内の小中学校や障がい者施設などへ出向き、コンサートや演奏指導等を行う。プロの能楽師によるワークショップも開催する。	自主公演 共催
トヨタマスタークリエイターズ、ウィーン・ウィーン・プレミアム・コンサート豊田公演	4月20日	950人	ウィーンフィルを中心とした世界トップレベルの演奏家を集結させ開催するコンサート。 (トヨタ自動車との共催)	主催公演 共催

名古屋フィルハーモニー交響楽団 豊田市コンサートホール・シリーズ Vol.7「カジュアル」	5月 11 日	800 人	豊田市と名フィルの連携協定を意識した新規企画。若年層をターゲットに「映画音楽」など親しみやすい曲目で開催する。 (名フィルとの共催事業)	自主公演	共催
さつき能	5月 12 日	380 人	能「杜若」(喜多流)／中村邦生朗読「伊勢物語抄」／石田ひかりによる公演を開催する。	自主公演	共催
シャンドル&アダム・ヤボルカイ兄弟 ヴァイオリン&チェロ デュオ・リサイタル	5月 19 日	680 人	ジプシー系超絶技巧が持ち味の演奏家による、アンコールピースを中心にクラシック初心者向け企画として開催する。アウトリーチも予定している。	主催公演	共催
伝統芸能シリーズ 「三味線の魅力～粋で楽しい日本の音色～」	6月 15 日	360 人	棹の太さで分類され、演奏する楽曲のジャンルも異なる三味線の特徴を紹介し、それらの音楽に親しむ公演を開催する。	自主公演	共催
納涼能	6月 29 日	350 人	能「芦刈」(宝生流)／和久莊太郎・内藤飛能 狂言「棒縛」(和泉流)／井上松次郎による公演を開催する。	自主公演	共催
ハートフルコンサート	7月 14 日	752 人	豊田市や市内企業等による実行委員会が、名フィルの子ども向け演奏会を企画開催する。 (ハートフルコンサート実行委員会主催)	自主公演	共催
親子で楽しむ わくわく能楽体験	8月 25 日	300 人	公演鑑賞とワークショップで能楽に親しむ親子向けイベントを開催する。	自主公演	共催
上原彩子が奏でる子どものための「くるみ割り人形」	8月 31 日	600 人	チャイコフスキイ国際コンクールの覇者による、ピアノと映像を楽しむコンサートを、4歳以上の子どもも入場可とした鑑賞公演を開催する。	主催公演	共催
菊月能	9月 1 日	350 人	能「土蜘蛛」(金春流)／金春穂高写真でつづる「大和の能と野外能」／金子直樹ほかによる公演を開催する。	自主公演	共催
NHK 交響楽団 豊田公演	9月 6 日	850 人	昨年度、好評・完売となったNHK交響楽団の公演を再演する。首席指揮者 P.ヤルヴィを迎えてお届けする。	主催公演	共催
第21回豊田市民クラシック・コンサート	9月 14 日～16日	3,060 人	市内在住・在勤・在学・出身のクラシック音楽演奏愛好家によるコンサートを開催する。	自主公演	共催
世界音楽の旅シリーズ ブルガリアン・ヴォイス 「アンジェリーテ」	9月 27 日	520 人	ブルガリア民謡の歌声をお届けする。世界35カ国以上でパフォーマンスを魅せて来たグループ。アウトリーチも予定している。	主催公演	共催
ベン・ファン・オーステン オルガン・リサイタル	10月 6 日	350 人	オランダのグローテ・オフ・セント・バフォ教会のオルガニストで、19世紀フランス作品の第一人者による公演を開催する。	自主公演	共催

グザヴィエ・ドゥ・メストレ&ルセロ・テナ ハープ&カスタネット	10月9日	470人	世界的ハープ奏者メストレとカス タネットのソリストとして活躍す るテナのデュオコンサートを開催 する。	主催公演	共催
ジャン・ロンドー チエ ンバロ	10月30日	320人	その見た目と実力で若い女性に人 気の新世代チェンバリストの公演 を、能楽堂で開催する。	主催公演	共催
狂言づくし	11月1日	700人	新作狂言「鮎」(演出・出演／野村 萬斎 作／池澤夏樹)ほかによる 公演を開催する。(CBCテレビと 共催・2回公演)	主催公演	共催
ポーランド国立ワルシ ヤワ室内歌劇場オペラ 「フィガロの結婚」	11月3日	800人	ポーランドとの国交100周年のメ モリアルイヤーに、当館3年ぶり となるオペラ公演を開催する。	主催公演	共催
ラファウ・ブレハッチ ピアノリサイタル	11月10日	590人	2019年アニメ「ピアノの森」の舞 台でもある、ショパン国際ピアノ コンクールで優勝したポーランド の新星による公演を開催する。	主催公演	共催
女声合唱団カントウス	11月29日	700人	映画「アナと雪の女王」のオープ ニング曲「Velle」を歌っているノ ルウェーの女声合唱団による公演 を開催する。	主催公演	共催
第22回 豊田市民演能会	11月30日 ～ 12月1日	300人	能楽愛好家の方々に発表の場を提 供する市民参加型事業を開催す る。	自主公演	共催
特別公演	12月7日	370人	能「葵上」(観世流)／味方 玄 囃子解説「お囃子大解剖(仮)」／ TTR能プロジェクトによる公演を 開催する。	自主公演	共催
辻井伸行 音楽と絵画 コンサート	12月8日	900人	名実共に日本を代表するピアニス トとなった辻井伸行の演奏と共に 目でも絵画を楽しむコンサートを 開催する。(東海テレビとの共催事 業)	主催公演	共催
コンサートホール・ フェスティバル	12月14日	700人	コンサートホール全館を公開し て、ワークショップ・楽器体験・ 演奏会を開催する。	自主公演	共催
シプリアン・カツアリス ピアノリサイタル	12月15日	850人	昨年度、台風で公演中止となつた フランスの世界的ピアニスト兼作 曲家のシプリアン・カツアリスの 公演を開催する。(東海テレビとの 共催事業)	主催公演	共催

伝統芸能シリーズ 41 「悪魔降臨 in 能楽堂 (仮称)」	12月21日	380人	ジャンルの垣根を越えた共演を行っているデーモン閣下と能楽師 山井綱雄、箏奏者 中井智弥による能楽をテーマにしたコラボレーション公演を開催する。	自主公演	共催
ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤー・コンサート	1月5日	850人	2017年のニューイヤー・コンサート以来、3年ぶりの豊田公演を開催する。国際ソロブチミストの協賛企画も検討する。	主催公演	共催
新春能	1月19日	370人	能「江口」(観世流)／大槻文藏 狂言「節分」(和泉流)／野村又三郎による公演を開催する。	自主公演	共催
名古屋フィルハーモニー交響楽団 豊田市コンサートホール・シリーズ Vol.8 「名曲」	2月1日	800人	名フィルが豊田市コンサートホールを会場にして行うクラシック演奏会を開催する。豊田市ジュニアオーケストラとの共演企画も実施する。(名フィルとの共催事業)	自主公演	共催
細川千尋トリオ	2月15日	610人	新進気鋭のジャズピアニスト細川千尋率いるピアノトリオコンサートを開催する。クラシックアレンジ曲を中心にお届けする。	主催公演	共催
やよい能	3月1日	380人	能「羽衣」(金剛流)／金剛龍謹と狂言の公演を開催する。	自主公演	共催
第23回とよたフレッシュコンサート	3月15日	500人	平成29~31年度までに音楽専攻の大学等を卒業した新人演奏家によるコンサートを開催する。	自主公演	共催
かーるくラシック	年8回	4,100人	クラシックとオルガンの名曲を気軽に親しむ 60分のコンサートを開催する。100分のスペシャル版も企画する。	自主公演	共催
小中学生のための能狂言鑑賞会	2月~3月	300人	小中学生を中心対象とした分かりやすい能狂言の入門編鑑賞会を開催する。	自主公演	共催
豊田市コンサートホール・能楽堂企画運営	通年	—	専門家・市民代表で組織された企画運営委員会を開催し、市民に親しまれる事業企画案などを審議する。	その他	受託

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
みんなで歌おう懐かしい歌を	6月2日	650人	出演にボニージャックスを迎えて、超高齢化社会を見据えた観客参加型企画として、懐かしい歌のオリジナルを聴き、会場のお客様も一緒に歌う公演を開催する。	講座、セミナー、育成 共催
オルガン演奏体験講座	8月(2回)	22人	コンサートホールのジョン・ブランドンバー社製オルガンを実際に演奏することのできる体験講座を開催する。	体験活動等 共催
能楽入門講座	10月～11月	40人	狂言、お囃子 ^{はやし} 、謡、仕舞などの体験習得講座を開催する。	体験活動等 共催
能狂言が見たくなる講座	年4回	400人	様々な視点から能・狂言の魅力に迫る講座を開催する。	講座、セミナー、育成 共催
パイプオルガンを楽しむための講座	年3回	600人	オルガンへの興味を深め、より楽しんでもらうための映像と演奏を交えた講座を開催する。	講座、セミナー、育成 共催
ふらっと能楽堂	年3回	240人	気軽に能楽・伝統芸能に親しむための初級者講座を開催する。	講座、セミナー、育成 共催
大人のためのクラシック講座	年2回	600人	クラシックへの興味を深め、より楽しんでもらうための映像と演奏を交えた講座を開催する。	講座、セミナー、育成 共催

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
豊田市青少年音楽活動実施事業 豊田市ジュニアオーケストラ運営	通年	団員70人	ジュニアオーケストラを運営し、年2回の定期演奏会などの活動を行う。平成31年度は全国公立ジュニアオーケストラフェスティバルへの参加を予定。	体験活動等 受託

【ラグビーワールドカップ2019関連 来訪者のおもてなしを行う事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
【新規】W杯おもてなし事業	9月23日 9月28日 10月5日 10月12日	[コンサートホール] 200人 [能楽堂] 200人	[コンサートホール]コンサートホールを開放し、パイプオルガンの演奏など音楽を通したおもてなしを行う。 [能楽堂]能楽堂を開放し、呈茶、能面の着装体験などを通したおもてなしを行う。	体験活動等 共催

合 計

事 業 総 合 計	46事業	31,714 人	
-----------	------	----------	--

(4) 利用予定

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
コンサートホール	167	68,000	コンサート等
能楽堂	52	10,000	能・狂言・その他邦楽等
多目的ルーム	180	9,000	講座・講演・ピアノ発表会等
リハーサル室 等	300	9,000	音楽・能楽・謡曲等のリハーサル
計	699	96,000	

5 歌舞伎伝承館

豊田市の農村歌舞伎の価値を市内外に発信する活動を展開し、その活動を通して、市民の郷土への誇りと愛着を育むことを目的とします。また、小原地区の郷土資料の展示を行い、地域の魅力発信やスクールサポートを実施する場として事業を展開いたします。

(1) 事業

見る、聴く、触れる、体験する各種講座、講習会の開催により、農村歌舞伎をより身近に感じていただきます。専門家による解説講座の他、実際に活動中の保存会の皆さんとの連携により、郷土芸能をより多くの市民に知っていただくとともに、活動中の皆さんの励みとなるような機会を創出します。また、市内に点在する保存会の情報交換の場としての機能を果たし、それぞれの活動の活性化と連携に貢献します。

(2) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【文化・芸術に関する講座の開催等、文化・芸術に関する知識及び技能の習得を図る事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
歌舞伎伝承館歌舞伎事業	通年	1,500人	農村歌舞伎をはじめとする郷土文化に関する入門講座、ワークショップ、展示等を開催する。	講座、セミナー、育成・体験活動等・博物館等の展示 受託

合計

事業総合計	約20事業	1,500人	
-------	-------	--------	--

(3) 利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
入館者数	一	15,000人	事業参加者、企画展・常設展見学者等

6 青少年センター

中心市街地の立地を生かし、青少年活動をまちづくりにつなげるとともに、「個を活かし、つなげて、革新する時代」に向け、豊田市における青少年の社会教育中央施設としての期待に応えます。

(1) 事業

本市で開催されるあいちトリエンナーレ 2019、ラグビーワールドカップ 2019、来年に迫った東京オリンピックに、若者が積極的に関わることを目的に「若者の社会参加応援事業」を実施します。

連携事業においては、従来の行政・教育関係団体との連携を維持しつつ、市民団体・民間事業者との連携をより一層強化し、若者の力が幅広く発揮できる事業展開を目指します。

専門家、市民代表などの有識者による青少年育成委員会の意見を取り入れ、豊田市の青少年健全育成を推進します。

社会的自立の支援では、教育格差による貧困の連鎖を解消するため、学習支援事業「若者・外国人未来応援事業」を愛知県と連携して実施します。また、ユースクラブが企画・運営する出逢いの機会を創出する事業などを実施します。

居場所づくりでは、市民が気楽に立ち寄り過ごせる場所に、若者の力で作り出す「サロン賑わい創出事業」、若者層の居場所となる「学習・卓球等若者開放事業」、学生が自らの力で作る「若者ルーム」運営などを充実します。

若者の自主的な活動の推進では、「高校生ボランティアスクール」、「高校・大学連携事業」、「学生とハタラクをつなぐプロジェクト」など、高校・大学等と連携し、若い世代と社会を結ぶ役割を担います。また、情報化社会に対応すべく、ホームページ掲載情報の充実、「とよた若者応援ネット『プラス』」など SNS を活用した情報発信を手掛け、多くの若い世代へ有益な情報を提供するとともに、気軽に参加できるシステム構築を目指します。

(2) 施設運営

改善活動への全員参加、危機管理マニュアルに基づいた各種訓練の実施、利用者懇談会・施設利用アンケートの実施により、青少年ならびに一般市民の安全・安心・快適な利用を促進するとともに、産業文化センター内の施設相互利用を含め、効率的な管理運営と市民サービスの向上に努めます。また、来館者から率直な意見を聞き取る「ご意見箱」や相談窓口からの利用者ニーズの把握、L I N E @・メールマガジンなどによる情報提供、ホームページからの事業参加・利用者登録・空き部屋情報掲載など利便性を向上させ、若者情報紙(フリーペーパー)の発行など、情報の需要・供給機能の向上を図ります。また、職員の専門分野の知識・能力向上のため、研修参加や県外他市施設への視察を推進します。

(3) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
若者・外国人未来応援事業	通年 週2回	延べ 200人	中学卒業後の進路未定者や高校中退者を対象に、高等学校卒業程度認定試験の受験及び合格をめざして、学習支援及び学習相談を実施する。 愛知県発注の事業（若者・外国人未来応援事業）と財団の自主財源を組み合わせて実施する。	講座、セミナー、育成 自主
サークル・グループ文化祭	1月	参加者 200人 来館者 1,800人	学生や若者の活動拠点としての青少年センターをPRするイベントを開催する。 青少年団体メンバーで組織する実行委員会が企画運営し、日頃の活動を広く市民へPRし、新規団体、新メンバーの獲得につなげる機会とする。 連携6大学及び近隣高等学校の活動を発表する機会を設け、学習成果等を市民にPRする。	体験活動等 自主
【新規】 若者の社会参加応援事業	通年	2,000人	豊田市で開催されるラグビーワールドカップ2019、あいちトリエンナーレ2019開催期間中に豊田市を訪れる人々を歓迎し、あわせて豊田市をPRするために若者の力を活用する。	体験活動等 自主
ユースクラブ	通年 研修5回 自主企画 2回	(研修) 延べ50人 (企画参加者) 延べ200人	青年企画の事業を実施するため、研修を通じて様々な知識や経験の上積み、青年利用者間の交流促進並びに事業運営サポーターの育成を図る。	講座、セミナー、育成 共催
学生交流塾	通年	延べ 300人	学生が学校や学年の垣根を越えて集い、学生生活で得た学びや思いを形にする交流活動を実施する。	体験活動等 共催
高校・大学連携事業	通年 3回	延べ 300人	大学のゼミ活動やクラブ活動、特色のある高校生の活動や発表等を支援する。 愛知教育大学の「社会教育実習」、杜若高校の「バーチャル市役所」等、学校と提携し科目履修の機会を提供する。	体験活動等 共催

サロン賑わい創出事業	通年 8回	2,000人	青少年利用者、登録青少年団体が日頃の活動成果を発表する機会と、産業文化センターの賑わいづくりを目的としてサロン（ロビー）を活用したイベントを実施する。	体験活動等	共催
若者ルーム	通年	延べ 200人	学生がまちづくり提案等の活動の拠点として自由に活用できる部屋を提供し、利用する学生自らが運用ルールを作り自主管理する。また、ユースクラブの活動拠点として活用する。	施設の貸与	共催
とよた若者応援ネット「プラス」	通年	—	個人登録のデータと LINE@のネットワークを活用し、青少年に有益な情報をリアルタイムに発信する。また、新たな情報に特化した「LINE@」の情報発信を実施する。	その他	共催
高校生ボランティアスクール	5月～3月 各コース 13回	延べ800人	ボランティア活動を通して地域の活動や社会参加を体験し、人とのふれあい・語らいを通して、自立心と思いやりをもった青少年を育成する。保育・福祉・レク・ものづくりの各コース活動に加え、イベントボランティアなどコース外活動を関係機関と連携して実施する。（野外センター、科学体験館と連携）	講座、 セミナー、 育成	共催
学生によるまちづくり提案支援事業	8月～ 12月	参加学生 50人 提案参加 者1,000 人	豊田市の実施する「あそべるとよた DAYS」を活用し、学生の発想による様々なまちづくり提案の実現に向けたコーディネイト事業を実施する。	体験活動等	共催
インターンシップ事業	8月・2月 各10日間	20人 (各回10 人)	近隣の大学との連携により、学生の社会教育学習のサポートを行う。	体験活動等	共催
学生とハタラクをつなぐプロジェクト	11月～2月 5回	150人 (各回30 人)	学生とハタラク職場の出会いを創出し、豊田市の魅力的なハタラク職場の発見や「ハタラク」意味、価値について学び、将来の職業選択の視野を広げる機会を提供する。	講座、 セミナー、 育成	共催
クリスマスパーティー	12月	100人	クリスマスをキーワードにした男女の出会いを創出する事業をユースクラブ会員のスキルを生かす機会として開催する。	体験活動等	共催
バレンタインパーティー	2月	48人	バレンタインをキーワードにした男女の出会いを創出する事業をユースクラブ会員のスキルを生かす機会として開催する。	体験活動等	共催

学習・卓球等若者開放事業	通年	30,000人	空室を自主学習や音楽・ダンス・演劇等の自主練習会場として提供する。 軽運動室で卓球ができる機会を青少年の居場所として活用する。	施設の貸与	受託
飯野地区子どもの居場所づくり事業	通年	延べ400人	飯野小学校の空き教室で地区の子どもたちの放課後の居場所を提供し、遊びや体験講座の開催を通じて青少年の健全育成を行う。	体験活動等	受託

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
豊田市青少年団体傷害互助会事業	通年	33,500人	豊田市内の青少年団体の活動を支援し、加入者の団体活動中における不慮の事故に際し、見舞金を支給する。	その他 自主
平成31年度 豊田市文化振興財団大会（青少年表彰）	6月	各賞3 個人または 団体	青少年健全育成において優れた業績をあげた団体及び功労者を称え表彰する。 (青少年功労賞、青少年奨励賞)	その他 自主
レクリエーション団体 指導者派遣	通年	100回	①レクリエーション指導者団体の情報交換（定例会）を行うとともに、子ども会等へ指導者を派遣し活動支援を行う。 ②社会貢献活動の一環として交流館等で行われる地域イベントに登録サークル・グループを派遣する。	相談・助言 共催
子ども会事務支援	通年	—	豊田市子ども会育成連絡協議会（市子連）の事務局として運営を支援し、子ども会活動の活性化に寄与する。	相談・助言 受託

合計

事業総合計	21事業	73,318人	
-------	------	---------	--

(4) 利用予定

青少年センター

施設名	件数	人数	利用内容
会議室・音楽室・軽運動室 等	7,070	66,000	会議・研修・バンド練習・ダンス 等

その他

施設名	件数	人数	利用内容
ロビー・若者ルーム 等	930	36,000	たまり場 等

総合計

総合計	8,000	102,000	
-----	-------	---------	--

7 総合野外センター

野外活動の拠点施設として、こども園、幼稚園、小学校及び中学校のほか、子ども会などの青少年団体の野外体験学習の受入れや活動指導を通して青少年の健全育成を図ります。

施設の特徴や季節に合わせたプログラム開発とPRを行います。また、野外活動を指導する青年指導者の育成や、安全に配慮した活動エリアの整備にも努めます。

(1) 事業

学校の教育課程に位置付けられた小学校のキャンプや中学校の宿泊学習では、他の類似施設では実例の少ない、専門知識を持った職員による事前打合せや直接指導を通して、教職員の負担軽減に配慮しながら、学校の目的達成を支援します。また、豊田市子ども会育成連絡協議会やその他青少年団体と連携し、季節や自然環境を活かしたプログラム開発を進めるとともに、雨天時でも自然に親しめる魅力ある活動の開発も行います。具体的な対応として、「指導者研修会」、「キャンプスタッフ養成講習会」などを実施し、野外活動指導者の育成にも努めます。

「六所のつどい」、「キッズキャンプ」及び「山の子里山学級」では、子どもたちが、里山ならではの自然や、先人の知恵のすばらしさを体験の中から感じることで、たくましく生きる力を身につけることを目指します。また、学校の枠を超えた人間関係の中で、コミュニケーション能力を高め、思いやりの心や協力性を身につけるなど、学校のキャンプでは体験することができない企画を実施します。さらに、小学校低中学年の子ども対象の「六所であそぼう」は、利用者の要望に応え希望の多い夏の実施回数を増やして実施します。

「親子自然体験塾」、「ファミリーキャンプ」では、野外活動を通して親子の触れ合いや家族間交流の場を提供します。また、「サバイバル防災キャンプ」では、非常時にも活用できるようなアウトドアスキルを家族で楽しみながら身につけます。また、以前より要望のあった日帰り開催も計画します。

このほか、他施設との連携事業「高校生ボランティアスクール」や「応援アウトドア」、支援事業として関連団体と共に「里山仕事体験塾」などを実施します。

(2) 施設運営

学校以外の青少年団体の利用を促進するため、利用希望団体が多い夏休み期間中は、暑さ対策など安全面に配慮しつつ、月曜日開館を継続して実施し、利用受入枠の増加に努めます。施設面においては、利用者が安全に施設を利用できるように、利用者の目線で施設及び設備の点検を毎月実施し、不具合には早急に対応できる体制づくりに努めます。併せて、施設の営繕や保全作業についての所員の力量向上に努め、経費の縮減を積極的に図ります。また、食堂の効率的な運営や食の安全を目指し、食堂委託業者とのさらなる緊密な連携を目指します。

(3) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
指導者研修会	4月 5月	20人	小中学校や少年団体の指導者が実際の場で生かせるように野外活動の基本や指導のポイントを学ぶ研修会を開催する。	講座、セミナー、育成 自主
星を見る会	5月 8月 11月 3月	320人	プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、総合野外センターで本物の星空を観察する会を開催する。 (科学体験館と連携)	体験活動等 自主
高校生ボランティアスクール	5月～3月	20人	レクリエーションのボランティア活動を通して、自立心と思いやりをもった青少年を育成する。 (青少年センターと連携)	講座、セミナー、育成 自主
親子自然体験塾	6月 10月 12月	90人 (30家族)	里山での自然観察や昔ながらの風習について体験するとともに、家族の絆を深める。テーマとして昆虫・きのこ・紙すきを予定する。	体験活動等 自主
【新規】ワールドカップ盛り上げ隊	9月～11月	200人	ラグビーワールドカップ 2019 を盛り上げ、財団をアピールするため、クラフトブースの出展やスポーツ少年団の宿泊活動受入れを実施する。	体験活動等 自主
アウトドア講座応援アウトドア	年6回	6団体	他施設を会場に、当センターのプログラムやノウハウを使ったミニ野外活動体験会の実施並びに他施設主催講座の実施及び企画協力に職員を講師として派遣する。	体験活動等 自主
支援事業里山仕事体験塾	年3回	30人	新割り、炭作りなどの山里での林業体験や、自然の中でのレクリエーション活動を通して、青年の社会復帰支援を関連団体との連携で実施する。	体験活動等 自主
六所であそぼう	4月 8月(2回) 11月 2月	200人	小学校低中学年を対象に、季節の活動やハイキング等、自然の豊かさや大きさを学ぶことを目的とした野外活動プログラムを提供する。	体験活動等 共催
六所のつどい	5月 8月 11月 2月	144人	活動時期に応じた自然体験、野外活動体験及びクラフト活動を通し、自然の素晴らしさと大きさを知るとともに、集団活動の中で仲間作りや協力することの意義を学ぶ。	体験活動等 共催
キャンプスタッフ養成講習会	5月 6月 9月 10月	160人	野外活動の意義や基礎知識の習得、プログラムの実践体験から指導方法のノウハウを学び、指導力の向上を図るとともに、年間を通して野外センターで活躍するキャンプスタッフを養成する。	講座、セミナー、育成 共催

ファミリーキャンプ	5月 8月 10月 11月	560人 (140家族)	自然に親しみ家族の絆を深めるために、野外活動を計画する家族への施設開放と魅力的なプログラムを提供する。	体験活動等	共催
スタッフ研修会	6月～2月 計3回	26人	「六所のつどい」や「山の子里山学級」が安全で効率的に実施できるよう、担当するキャンプスタッフの事前研修を実施する。	講座、セミナー、育成	共催
サバイバル 防災キャンプ	11月 3月	84人 (24家族)	災害時にも対応できる野外活動や、燃料を手に入れるための薪割り体験から知識や技能を学び、防災意識を高めるとともに、親子の触れ合いや参加した家族間の交流を図るプログラムを提供する。	体験活動等	共催
山の子里山学級	12月 1月	36人	仲間と協力して活動することで、人間的な関わりを深めながら、自然の豊かさや大切さを学ぶことを目的とした野外活動プログラムを提供する。	体験活動等	共催
キャンプ インストラクター 養成講習会	2月	30人	日本キャンプ協会と連携して野外活動の基礎的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動を支援する指導者を養成する。(キャンプ協会公認インストラクター資格試験受講対象)	講座、セミナー、育成	共催
キッズキャンプ	3月	36人 (大学生 10人)	公募した市内大学生10人がキャンプの企画から運営まで携わることで、指導者の資質向上を図るとともに、参加者ニーズに応えられるようなキャンプを実施する。	体験活動等	共催

合 計

事 業 総 合 計	16事業	1, 966人	
-----------	------	---------	--

小中学校等 野外活動直接指導	通年	9,300人	他の類似施設では導入例の少ない、専門知識を持った職員による野外活動の直接指導を行い、こども園、小中学校等の施設利用時の活動目的を最大限に達成するための支援を行う。	体験活動等	受託
-------------------	----	--------	---	-------	----

(4) 利用予定

施 設 名	件 数	人 数	利 用 内 容
少年自然の家	200	20,000	宿泊研修等
青少年キャンプ場	420	29,000	野外活動等
運動広場	30	6,000	軽スポーツ等
資料館	15	900	動植物標本・民芸資料の展示
多目的ホール	110	11,100	軽スポーツ・雨天時等の活動等
研修室	50	3,000	軽スポーツ・雨天時等の活動等
計	825	70,000	

8 産業文化センター

市民の文化活動や民間企業の団体活動などの多様な利用者ニーズに対応し、複合施設としての特色を生かした、きめ細かな施設運営を目指します。また、職員の日常的な施設点検を始め施設の予防修繕、施設の延命化などの課題にも積極的に取り組み、より安全・安心・快適を目指した施設運営に努めます。

「とよた科学体験館」は、市の科学教育を担う中心施設として、低年齢層を対象とした科学の芽を養う事業から、より専門性の高い事業まで、幅広い年齢層の市民が気軽に科学に触れられる生涯学習の機会の拡充に努めます。

(1) 事業

とよた科学体験館では、天文、サイエンス・ものづくり事業の分野について、市民ニーズに考慮したバランスのよい事業展開を図ります。

サイエンス事業では、「サイエンステラス」、「JOY! JOY! こどもクルマフェスタ」、「こども園出前サイエンスショー」などの事業を通して、これまで以上にサイエンス・ものづくりにかかわる団体との連携を深めていきます。また、「サイエンスショー」、「やってみようワークショップ（サイエンスショーの後の実験体験など）」の事業では、体験館スタッフと来館者とのコミュニケーションを大切にし、交流を深めていきます。

天文事業では、財団の自主的な取り組みとして、プラネタリウムで要望の強い「銀河鉄道の夜」の再上映や、話題の「HAYABUSA2」に関連した事業の展開を図り、市民満足度の高い事業を実施します。

「喜楽亭」では、本年度予定されている「あいちトリエンナーレ」への協力を積極的に進めていきます。「喜楽講座」は「喜楽事業」と名称を変え、より多くの人に「喜楽亭」をPRできるようにします。

(2) 施設運営

入居団体との連携と共に働くより密にすることで、安全・安心・快適な施設運営に取組みます。日常的な施設管理、設備点検を強化し、また管理運営マニュアルや各種様式の見直しを「利用者目線」に立って進め、設備点検管理と事業の一体運営による効率化を図っていきます。

職員一人ひとりが責任感を持って、市民の立場に立った信頼される施設運営に取り組み、市民から親しまれ、信頼される施設を目指します。

(3) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人 数	内 容	事業区分
【新規】 プラネタリウム番組「銀河鉄道の夜」アンコール投映	通年	1,500 人	来館者のリクエストが多いKAGAYA作品「銀河鉄道の夜」を再投映する。	体験活動等 自主
サイエンス・ものづくり支援事業	年40回	1,900 人	サイエンスショー・科学工作などのノウハウ提供やこども園を始め他施設への出前講座を開催する。	体験活動等 自主
JOY! JOY! こどもクルマフェスタ	4月	1,500 人	ウインドカーレース、エンジン分解講座など、クルマをテーマとしたイベントを開催する。 (公益社団法人自動車技術会中部支部と連携)	体験活動等 自主
ミニワークショップ	毎週土・日 祝日 夏冬春休み	20,000 人	短時間でできる簡単な工作教室を開催する。	体験活動等 自主
高校生ボランティアスクールものづくりコース	年8回	80 人	ミニワークショップのお手伝いや展示解説などの、ものづくりのボランティアをとおして、自立心と思いやりを持った青少年を育成する。(青少年センターと連携)	講座、セミナー、育成 自主
コラボ事業 (喜楽亭・産文)	年5回	150 人	入居団体であるTIA・中日文化センター等とコラボレーションし、相撲甚句、フラメンコ等の実演、ボジヤギ(韓国パッチワーク)等の展示等を実施する。	体験活動等 自主
星を見る会	年4回	200 人	プラネタリウムで当日の星空を学んだ後、総合野外センターで本物の星空を観察する会を開催する。(総合野外センターと連携)	体験活動等 自主
【新規】 上坂監督が語る 「HAYABUSA2」	4月	100 人	プラネタリウム番組「HAYABUSA2」の上映及び上坂監督の制作にまつわるトークショーを開催する。	体験活動等 自主
アストロクラブ 親子天体観望会	9月	70 人	アストロクラブの会員と家族を対象に野外活動と天体望遠鏡での観望会を開催する。	体験活動等 自主
ものづくりフェスタ 2019	11月	120 人	ものづくりフェスタ実行委員会主催のイベントに実行委員の派遣と出展協力をする。	体験活動等 自主
プラネタリウム 投映事業 (一般投映)	通年	50,000 人	とよた科学体験館の利用促進を目的として、一般向け・子ども向け番組の投映や関連イベントを開催する。	体験活動等 受託

プラネタリウム 投映事業（学習投映）	通年	1,000人	市内の小学4年生向け学習番組を投映する。	体験活動等	受託
街中の星見会 「まちばし」	年13回	960人	月や惑星などの星空の状況に応じて、プラネタリウムで星空の予習をし、街中で天体望遠鏡による観望会を開催する。	体験活動等	受託
サイエンススクール	通年	220人	中学・高校の科学部等に呼びかけ、年間を通じて学習会に参加し、その成果の発表の場として、サイエンスショーを開催する。	講座、セミナー、育成	受託
展示整備事業	通年	一	展示品の製作検討や既存の展示物の点検・修理を行うため、定期的に展示整備委員会を開催する。	体験活動等	受託
サイエンスショー	毎週土・日・祝日等	17,000人	科学の原理を実験によって紹介する実験ショーを実施する。また「笑劇派」や外部講師によるスペシャルサイエンスショーを開催する。	体験活動等	受託
	平日	6,000人	市内の小学生の学習利用向けや一般団体向けにサイエンスショーを開催する。	体験活動等	受託
星空散歩	週1回	3,600人	生解説のオリジナル番組を制作し、投映を実施する。	体験活動等	受託
キッズのはじめてのプラネタリウム	年16回	2,240人	プラネタリウムの暗さ・時間・内容を考慮した幼児と一緒に観賞できる投映を実施する。	体験活動等	受託
出前天体観測会	年12回 予定	600人	学校等・交流館等に望遠鏡を持って出向き、天文の話や天体観測会を開催する。	体験活動等	受託
ワークショップ	年11回	372人	主に小・中学生向けに科学やものづくりの楽しさを体験できる実験・工作教室を開催する。	体験活動等	受託
	不定期	5,000人	「やってみよう！ワークショップ」と題して、職員、事業支援者等のボランティアによる随時感化型のワークショップを実施する。	体験活動等	受託
アストロクラブ 初級コース	年6回	300人	子どもたちを対象にした天文教室。 天文の基礎知識や星座の見つけ方などを学ぶ講座を開催する。	講座、セミナー、育成	受託
アストロクラブ 中級コース	年6回	90人	子どもたちを対象にした天文教室。 望遠鏡等の活用の仕方を通して、天文の楽しみ方を学ぶ講座を開催する。	講座、セミナー、育成	受託
サイエンスクラブ 初級コース	年6回	360人	小学3・4年生向けに、年間を通して、科学全般に関する実験・科学工作的講座を開催する。	講座、セミナー、育成	受託
サイエンスクラブ 中級コース	年6回	144人	小学5・6年生向けに、年間を通して、科学全般に関する科学実験を中心とした講座を開催する。	講座、セミナー、育成	受託

星空散歩ライブ	年4回	460人	楽器演奏などとのコラボレーションで、音楽と映像と生解説の融合したオリジナル番組を投映する。	体験活動等	受託
企画展	年4回	—	スペースホールの壁面・サイエンスホール等の会場を利用して、天文・サイエンス・ものづくりに関連した企画展を開催する。	体験活動等	受託
サイエンステラス	年4回	150人	科学・ものづくりに関わる大学等の教育機関や団体・個人の活動紹介や来館者との交流の場を提供する。	体験活動等	受託
親子天文教室	8月 1月	200人	親子を対象に季節の星空や宇宙の話題をわかりやすく紹介するイベントを開催する。	体験活動等	受託
天文セミナー	6月 3月	200人	天文学や宇宙開発技術に関する専門家を講師に招き講演会を開催する。	体験活動等	受託
プラネタリウムコンサート	12月	280人	プラネタリウムの星空のもと、星座解説やプロの音楽家の生演奏のコンサートを開催する（1日2回公演）。	体験活動等	受託
喜楽亭茶会	年4回	400人	喜楽亭の良さを活かし、季節ごとに特色ある茶会を開催する。	体験活動等	受託
喜楽事業	年2回	200人	喜楽亭で、文化・伝統をテーマとした展示会等を開催する。	体験活動等	受託

合計

科学体験館 計	29事業	114,646人	プラネタリウム投映事業は一般投映と学習投映を合わせて1事業としてカウントしている。
産業文化センター計	1事業	150人	
喜楽亭 計	2事業	600人	
事業総合計	32事業	115,396人	

(4) 利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
小ホール	300	34,500	講演会・発表会
多目的ホール	370	41,000	展示会・研修会・パーティー等
プラネタリウム	820	55,000	学習投映・一般投映等
サイエンスホール	310	170,000	学習見学・一般見学等
喜楽亭	210	8,000	茶会・講座等
その他	6,200	169,500	中日文化センター等
計	8,210	478,000	

9 交流館

平成30年度から交流館の利用ルールの緩和や地域の特性にあった運営が可能になり、多様な活動や多様な主体の参加が徐々に拡がってきています。生涯にわたり市民が活躍する自立した地域社会の実現につなげるため、市民活動の促進及び活躍を支援する機能をさらに強化していきます。

市民に最も身近な施設として、市民ニーズの把握に努め、交流館ならではの機動力や専門性・柔軟性を発揮し、今まで培ってきた市民や地域団体等とのつながりなどの貴重な資源を最大限に活用することで、より魅力ある交流館を目指します。

今後、従来にも増して、市民目線を大切にし、市民との信頼関係を築き、交流館ごとの特色ある運営を行い、多彩なライフスタイルにおける市民の活躍を総合的に支援していきます。

(1) 事業

交流館ならではの視点で、人材を始めとする様々な地域資源や情報を「交流館カルテ」として積み上げ、交流館カルテを活用し、市民の活躍の機会を総合的にコーディネートします。また、交流館運営委員会を活用し、より地域の特性や実情に応じた特色ある事業の展開を進めています。

引き続き、住民が主体的に企画運営に関わる事業運営を強化し、地域活動の担い手の育成につなげるとともに、柔軟な施設運営で「開かれた交流館」をアピールし、利用者の裾野の拡大を目指します。さらに、民間事業者や市民団体の情報を積極的に収集し、交流館や地域での活動に呼び込み、新たな連携や新たな視点での事業展開を支援し、地域の学びや交流の機会を創出します。

(2) 施設運営

市民が気軽に利用できる居心地の良い交流館となるよう、「おもてなしのこころ」や職員行動規範「輝くぶんしん職員の心得 10 カ条」を基にした行動を実践し、より一層の市民サービスの向上を目指し、地域から信頼される施設を目指します。

また、より多様な市民が集い活動する施設として、利用者にとっての使いやすさ・使い心地の良さの視点も加え、日常点検や施設巡回を徹底するなど、安全・安心・快適に利用できる環境づくりを推進します。

(3) 事業一覧

※交流館における事業は、豊田市から委託を受けて実施する受託事業です。

【生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業】

交流館名	事業名	期日	内 容
逢妻	逢愛カフェ	通年 毎月 11 日	地域住民中心の講師が、カフェ、コンサート、イベント等を行い、住民間の交流の場を提供する。
	逢妻女川探検隊	6月	小学生親子が逢妻女川に入り、生き物の捕獲や観察をし、川に親しむ。
	ベビー講座	11月	乳児親子への子育て支援を通して、仲間づくりを行う。
	その他	7事業／総計	10事業／参加予定 1,690 人
旭	そらまめきつず	7～8月	放課後児童クラブと連携し、地域の小学生を対象に体験・幅広い交流を行う。
	旭の歴史を忘れない	8月～10月	地域講師より旭の歴史を学び、参加者同士の座談会で旭の歴史について情報を交換する。
	あさひまるけ	2月	地域住民によるものづくり・体験・カフェを行い地域住民の交流・活躍の場を提供する。
	その他	5事業／総計	8事業／参加予定 300 人
朝日丘	ひだまりサロン	通年 毎週火曜日	世代を問わず気軽に集えるカフェ形式のサロンを開催し、地域住民同士の交流を図る。
	男の遠足	5月	定年を迎えた男性の生きがいづくり、仲間づくりをテーマに開催する。
	キラキラ健康塾	7月	地域団体と共に健康づくり講座を開催し、地域課題の解決につなげる。
	その他	3事業／総計	6事業／参加予定 3,400 人
足助	足助探訪 香嵐渓の山野草と歴史	4月	飯盛山の山野草を観察しながら香嵐渓の自然と香積寺の歴史を通して足助の魅力を再発見する。
	ラグビー世界大会に向けて	4月～5月	DVDを交えながら、ラグビーの歴史・ルール等を解説し、ラグビーの精神をアピールする展示を実施する。
	綾渡踊り講座	7月～8月	国指定重要無形文化財である綾渡踊りを体験し自主活動に向けて支援する。
	その他	5事業／総計	8事業／参加予定 1,100 人
井郷	親子ふれあい遊び	5～2月	親子のふれあいの場、地域で安心して子育てできる仲間づくりの場とする。
	いさとdeフリマ	6月	いさとまちづくりプラン推進会議と共にフリーマーケットを開催し、地域住民の交流の場を提供する。
	いさとキッズタウン	1月	地域の団体・商店等の協力を得て、子どもたちの企画運営により「子どものまち」を開催する。
	その他	10事業／総計	13事業／参加予定 2,650 人

石野	石野コレクション	10月	口コモ予防事業と連携しファッショショを行ふ。
	ちゃんとごはん	11月	口コモ予防事業と連携し健康に配慮したメニューの食事会を行う。
	Xmasコンサートin石野	12月	生演奏のコンサートを地域の諸団体と共に開催する。
	その他 2事業／総計 5事業／参加予定 580人		
稻武	ものづくり体験講座	5月～9月	地元講師による体験講座を開催し稻武の魅力を再発見する。
	魅力再発見！稻武ヒストリア	5月～10月	稻武の歴史を学び、次世代へ継承するとともに、地域の魅力を再発見し愛郷心を育み、定住促進を図る。
	どんぐり広場	5月～12月	未就園児親子のふれあい遊び・仲間づくり・情報交換の場を地域団体と協力し提供する。
その他 5事業／総計 8事業／参加予定 600人			
梅坪台	歌声サロン ひなたぼっこ	4月～2月	歌を通して、こども連れの親子から高齢者まで交流できる場を提供する。
	交流サロン ブチひなたぼっこ	5月～3月	体験、ものづくりなど通して学び、地域住民のつながりを築く交流の場とする。
	子育て HOTサロン梅坪台	5月～3月	子育て情報提供と仲間づくりの支援の場とする。
その他 4事業／総計 7事業／参加予定 1,700人			
小原	お楽しみ発見隊	5月～7月	地域講師によるものづくり体験を通じて、地域の伝統文化を学ぶとともに、異世代交流を図る。
	キッズクラブ 2019	5月～7月	学区を超えた仲間づくり。地域の大人や講師との交流を通して自分の住む地域への関心を深める。
	ほたる鑑賞会	6月	交流館の敷地内でホタルを楽しみ、地域の環境を知るとともに、コンサート等で交流の場を提供する。
その他 4事業／総計 7事業／参加予定 320人			
上郷	kokoro つなぐカフエ	毎月 第4木曜日	地域住民が気軽に交流館に足を運ぶことにより、人と人のつながりを深め、交流する場を提供する。
	上郷三期大学	6月～1月 8回	高齢者の仲間づくりや生きがいづくりのきっかけとするとともに、地域の担い手の育成につなげる。
	キッチン上郷	11月～2月 4回	夜間講座を通じて新たな利用者を開拓するとともに調理実習室をPRし、部屋利用の拡大を図る。
その他 5事業／総計 8事業／参加予定 2,540人			
猿投北	第26回 観桃会	4月	コミュニティ会議と共に催で、お花見ウォーキング、投句、ぬりえ、コンサートなどを行う。
	ほたるウォーク	6月	コミュニティ会議と共に催で、「ほたるウォーク」、「ほたる保護活動の紹介」などを行う。
	おいでん 猿投北	6月～2月 4回	体験コーナーやミニ発表会などをロビーで行いながら、地域住民の交流の場を提供する。
	その他 7事業／総計 10事業／参加予定 2,500人		

猿投台	ママたちの支援講座	5月～12月	子育て支援グループの活動を生かし、子育て中のママ達の交流館や地域へのデビューを応援する。
	子どもフェスタ	8月	子ども達が企画したお店の運営などを通して、社会活動の模擬体験をする。
	中学生プロデュース 猿投台向上委員会	8月～10月	ふれあいまつりや子どもフェスタで企画、準備、運営に参加し、地域との世代間交流を深める。
	その他 4事業／総計 7事業／参加予定 200人		
下山	ささゆり鑑賞会	5月・6月	ささゆりの保存活動を広める学習の場と鑑賞会ボランティア育成の場とする。
	ビームライフ体験講座	6月	地域にある施設を活用した地域の魅力発信とスポーツを通じた交流を行う。
	七夕コンサート	7月	季節行事の「七夕」をテーマにしたコンサートと天体観測会を行う。
	その他 7事業／総計 10事業／参加予定 570人		
浄水	夜のコンサート	5月～12月	夕暮れに忙しい日常から解放され、生活に潤いと活力を養うコンサートを開催する。
	自治区出前講座	5月～2月	自治区と相談し交流館に来ることが難しい高齢者対象の生きがい講座を自治区で開催する。
	子どもフェス	8月	地域の小学生以下を対象にし、事業者・自主グループ・関係機関による体験会を開催する。
	その他 5事業／総計 8事業／参加予定 2,000人		
末野原	子育てサロンスペシャル	通年	子育てサポーター及び地域ボランティアの企画運営による親子イベントを実施する。
	末野原地域 ほっとプロジェクト	通年	職員が地域情報、地域のニーズの収集を行い、「末野原の魅力」を発信、コーディネートする。
	ひと育てプロジェクト あすかの会	7月	地域女性活動団体が企画運営する住民のための学び及び地域交流事業を展開する。
	その他 4事業／総計 7事業／参加予定 1,200人		
崇化館	今日は交流館に19日 (いくひ)！	毎月19日	地域団体等と共に、ロビーを会場として、健康体操や認知症予防等を行いながら、交流の場を提供する。
	陶工房「崇化館」	5月・11月 12月	陶芸窯を活用し、初心者から中級者向けの陶芸講座を夜間に開催する。
	チャレンジ夏休み！	7月	自主グループが学習成果を地域に還元し、地域の子ども達と交流する。
	その他 7事業／総計 10事業／参加予定 1,350人		
高橋	輪・和サロン	通年	利用者のやりたい気持ち、教える気持ちを実現させる場を提供する。
	七夕のゆうべ	7月	地域住民、団体が企画から関わり運営する、日本古来の行事である七夕にちなんだ事業を開催する。
	中学生が先生 キッズ ものづくりチャレンジ	7月	文化部の中学生が先生となり、地域の子どもたちにものづくりを教える。
	その他 1事業／総計 4事業／参加予定 1,980人		

藤岡	ランタン陶芸講座	7月	地域講師の指導で、夏の夜を楽しむグッズ、ランタン作りを行う。
	キッズわくわく体験	7月	わくわく団体の協力を得て、小学生と夏の一日を楽しくふれあい、思い出づくりを行う。
	サンクスコンサート	1月	交流館移転前に、長年の交流館のご利用に感謝してコンサートを開催する。
	その他 4事業／総計 7事業／参加予定 600人		
藤岡南	さくらのいえプロジェクト【さくらのいえと共に】	通年	地域若者ボランティアグループ「さくらのいえ」主催の企画を支援する。 (青少年企画講座及び中間支援事業)
	子ども体験講座【地域活動団体と共に】	年2回	子どもを対象に普段接することのない体験等の機会を設ける。
	We Love ふじなん講座【自治区と共に】	夏期	地区内の農村舞台を使用して「藤岡歌舞伎」を実施する。(深見、西中山の農村舞台を予定)
	その他 5事業／総計 8事業／参加予定 400人		
豊南	水源公園で野鳥観察	6月	地域にある水源公園で野鳥観察会を開催し、自然にふれる機会を提供する。
	サマーフェスタ 2019	8月	民間事業者、コミ、自主グループ等が協力し、地域の親子、子どもたちに楽しい時間を提供する。
	陶芸講座	1月～2月	交流館の特色でもある陶芸に興味を持ってもらい、趣味の幅を広げる機会とする。
	その他 7事業／総計 10事業／参加予定 1,000人		
保見	ほみっこ夏チャレンジ	8月	自主グループが地域の小学生を対象に体験講座を開催し、日頃の成果を生かし世代間交流をする。
	子育て支援講座	未定	地域の子育て世代のニーズに沿った支援を提供する。
	自主グループ体験講座	未定	高齢者を対象にした健康づくりのための体験講座を開催する。
	その他 3事業／総計 6事業／参加予定 640人		
前林	ほっこりサロン	4月～2月	地域講師によるものづくり、ミニコンサート、カフェなどを行ない、地域交流の場を提供する。
	あったかキッズⅠ～Ⅲ	6月～翌年2月	自主グループが司会進行を務め、交流館利用について一緒に考える場づくりをする。
	ダンディシニアと一緒に！にっこにこふれあいデイ	11月 24日	ふれあいながら地域貢献を目指すダンディシニアがおももパーティーを、コミ福祉委員会がものづくりとゲームを担当し協同で実施する。
	その他 2事業／総計 5事業／参加予定 880人		
益富	益富のホタル	5月・6月 7月・2月	地域内の小学校へホタルと環境についての出前講座を行う。
	森林の教室①バームクーヘン②ピザづくり	9月・11月	益富の森林で親子に屋外活動を体験してもらうことで、地域の魅力を発見する機会をつくる。
	益富大人塾 クリスマスリースを作ろう！	12月	増加するシニア世代を対象に、リース製作を通して、仲間や生きがいづくりの場を提供する。
	その他 7事業／総計 10事業／参加予定 1,200人		

松平	高齢者教室	5月～12月	地域の高齢者が、運動や講話、音楽を通して、仲間と共に学び、園児と手遊び等で交流を図る。
	サロンコンサート	5月～2月	楽器の生演奏やものづくりのプチ体験、カフェ等を通して、地域交流する講座を実施する。
	こどもひろばぽけっと	5月～2月	未就園児親子が、季節の行事等の遊びを通して、松平高校生徒と授業の一環で交流する場を提供する。
	その他	4事業／総計	7事業／参加予定 1,400人
美里	美里きらめき Net	通年	地域人材を活かし地域住民の学びたい、教えたい気持ちを応援する。
	きらめきコンサート	5月～2月	地域住民と共に企画をし、自主グループや音楽家によるコンサートを開催する。
	シニアフェス	6月	“シニアフェス世代の生きがいづくり”をテーマに体験や販売、発表を行い交流を図る。
	その他	5事業／総計	8事業／参加予定 1,500人
竜神	竜神カフェ	通年 月2回	ものづくりの体験やコンサートなどを通して、地域住民の交流の場を提供する。
	竜神サンデーサロン	年4回	運営委員が中心となり企画運営し、身近なところで文化や教養に触れる機会を提供する。
	寿大学	6月～12月	高齢者の社会参加を促進し、生きがいづくりや交流の機会づくりを支援する。
	その他	1事業／総計	4事業／参加予定 1,900人
若園	くれよんクラブ	4月～2月	季節の行事遊びなどで子育て支援を行い、親子交流の機会を提供する。
	茶処 若園	5月～2月	地域の資源を生かして、お茶の歴史や文化、伝統の継承をする。
	若中お助け隊	5月～2月	中学生がボランティア活動を行い、地域体験や交流活動を通して地域貢献をする。
	その他	7事業／総計	10事業／参加予定 2,100人
若林	わかばやしカフェ	通年第2・ 3・4金曜日	地域住民の憩いの場としてカフェスタッフを中心イベントやコンサートなどを企画し開催する。
	もごもごクラブ	4月～2月	自主グループや地域講師と連携して、育児世代や子ども同士のふれあいの場を提供する。
	夏休み わくわくチャレンジ	7月～8月	自主グループ、コミュニティ会議などの団体と連携し、小学生を対象に体験講座を開催する。
	その他	6事業／総計	9事業／参加予定 4,200人
合計		220事業／参加予定	40,500人 ふれあいまつり 28 交流館／参加予定 150,000人

(4) 利用予定

平成30年度より貸出区分時間（1H・3H）が混在し、統一的な統計データを得るためにカウント方法の変更（実件数・実人数）をします。

施設名	件数	人数	利用内容
逢妻交流館	会議室等	3,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	40,000 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
旭交流館 ※全室1時間貸	会議室等	1,000	会議・研修・講座など
	図書室	5,000 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
朝日丘交流館	会議室等	5,500	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	60,000 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
足助交流館	会議室等	2,000	会議・研修・講座など
	図書室	10,000 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
足助トレーニングセンター 他3施設	—	1,200	グラウンド・テニスコート・体育館 利用等
井郷交流館 ※2室1時間貸	会議室等	3,400	会議・研修・講座など
	図書室	130,000 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
猿投体育施設	—	1,800	体育館・武道場
石野交流館 ※2室1時間貸	会議室等	1,600	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	10,500 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
石野運動広場	—	450	グラウンド利用
稻武交流館 ※全室1時間貸 ※日・月祝夜間閉館	会議室等	600	会議・研修・講座など
	図書室	5,000 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
梅坪台交流館	会議室等	4,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	37,000 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
小原交流館 ※2室1時間貸	会議室等	2,500	会議・研修・講座など
	図書室	13,000 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
上郷交流館	会議室等	5,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	140,000 冊	図書の貸出し
	その他	—	個人利用
上郷公園	—	1,000	グラウンド利用

猿投北交流館 ※全室1時間貸	会議室等	1,500	16,500	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	17,000 冊	4,000	図書の貸出し
	その他	—	31,000	個人利用
猿投台交流館 ※全室1時間貸	会議室等	2,400	29,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	38,000 冊	9,100	図書の貸出し
	その他	—	36,000	個人利用
下山交流館 ※全室1時間貸	会議室等	6,500	7,000	会議・研修・講座など
	図書室	8,500 冊	2,500	図書の貸出し
	その他	—	17,500	個人利用
浄水交流館 ※全室1時間貸	会議室等	4,000	50,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	77,000 冊	16,000	図書の貸出し
	その他	—	48,000	個人利用
末野原交流館	会議室等	3,600	44,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	79,000 冊	21,000	図書の貸出し
	その他	—	41,000	個人利用
末野原運動広場		900	30,000	グラウンド利用
崇化館交流館	会議室等	7,000	68,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	25,000 冊	7,000	図書の貸出し
	その他	—	50,000	個人利用
高橋交流館	会議室等	2,600	40,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	37,000 冊	82,000	図書の貸出し
	その他	—	35,000	個人利用
高橋運動広場		750	8,000	テニスコート・ゲートボール場利用
藤岡交流館 ※全室1時間貸	会議室等	1,500	19,000	会議・研修・講座など
	図書室	15,000 冊	4,000	図書の貸出し
	その他	—	19,000	個人利用
藤岡南交流館	会議室等	1,500	22,000	会議・研修・講座など
	図書室	14,000 冊	2,500	図書の貸出し
	その他	—	26,000	個人利用
豊南交流館	会議室等	4,300	50,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	81,000 冊	23,000	図書の貸出し
	その他	—	80,000	個人利用
保見交流館	会議室等	3,600	44,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	100,000 冊	23,000	図書の貸出し
	その他	—	37,000	個人利用
保見運動広場		1,800	27,500	グラウンド、テニスコート利用

前林交流館	会議室等	3,000	34,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	32,000 冊	6,500	図書の貸出し
	その他	—	63,000	個人利用
益富交流館	会議室等	3,000	37,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	40,000 冊	11,000	図書の貸出し
	その他	—	26,000	個人利用
松平交流館	会議室等	2,500	27,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	34,000 冊	7,000	図書の貸出し
	その他	—	46,000	個人利用
松平運動広場		600	13,000	グラウンド利用
美里交流館 ※1室1時間貸	会議室等	5,000	48,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	38,000 冊	9,000	図書の貸出し
	その他	—	47,000	個人利用
竜神交流館	会議室等	3,600	48,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	73,000 冊	15,000	図書の貸出し
	その他	—	53,000	個人利用
土橋公園		1,500	15,000	グラウンド・テニスコート利用
若園交流館	会議室等	2,500	31,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	34,000 冊	8,000	図書の貸出し
	その他	—	38,000	個人利用
若林交流館	会議室等	3,800	53,000	会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	56,000 冊	15,000	図書の貸出し
	その他	—	28,000	個人利用

利用予定 合計

施設名	件数	人数	利用内容
交流館	会議室等	90,500	1,000,500 会議・研修・講座・調理実習など
	図書室	1,249,000 冊	366,500 図書の貸出し
	その他	—	1,307,000 個人利用
	小計	1,339,500	2,674,000
体育施設等	10,000	188,000	
合計	1,349,500	2,862,000	

10 とよたシニアアカデミー

シニア世代を対象に、地域で活躍するための学び、交流、体験、情報提供など各種事業を実施し、地域とのかかわりを持って、安心して健やかに自分らしく暮らせる多世代共生の実現を目指した生涯学習と活躍の機会を提供します（とよた市民活動センターからの事業受託業務）。

（1）事業

シニア世代が学習を通じ地域活動等に必要な知識や技術などを身に付け、仲間づくりをしながら、いきいきと暮らすための学習機会としての「とよたシニアアカデミー通年コース」、社会的課題や地域課題等をより専門的に学ぶことで市民活動につなげる「専門コース」、生きがいづくりや地域活動を始めるきっかけとなる「はじめの一歩講座」など、これまでの交流館運営等で蓄積してきた事業のノウハウを生かした講座を展開します。

（2）事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【生涯学習施設を活用して、生涯学習の機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
とよたシニアアカデミー 通年コース（3学科）	通年	120人	シニア世代が、1年間の学習や活動を通じ、仲間づくり、健康づくりなどの知識・技能の習得に努め、地域活動につなげるための学習機会を提供する。	講座、セミナー、育成及び体験活動等 受託
専門コース	年3回	60人	社会問題や地域課題等に関して、より専門的に学ぶことで市民活動につなげる短期講座を実施する。	講座、セミナー、育成 受託
はじめの一歩講座	年12回	240人	シニア世代の生きがいづくりや地域活動を始めるきっかけとなる各種講座を実施する。	講座、セミナー、育成 受託

合計

事業総合計	3事業	420人	
-------	-----	------	--

1.1 教職員会館

教育関係職員等の研究・研修活動の拠点施設として、教職員がこの施設で快適に活動できる環境を提供することで教育文化の振興の一翼を担います。

テニスコートにおいては、広く市民に開放し、体力の維持・増進とコミュニケーションづくりに貢献できるよう、より質の高いサービスの提供を目指します。

また、安全・安心で効果的な施設運営を行うとともに、施設の認知度を高め、利用の増加を図ります。

(1) 施設運営

職員の創意と工夫により、快適な環境づくりに努め、研究・研修施設としての役割の充実と利用率の向上を図るとともに、利用者ニーズを的確に把握し、柔軟な対応により利用者満足度（C S）の向上を目指します。

また、経費の削減に取り組む一方、安全管理に対しては職員一人ひとりが知恵を出し合い、信頼される施設運営を行います。

(2) 利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
会議室等	2,000	45,500	会議・研修会等
テニスコート等	800	4,500	テニス
計	2,800	50,000	

1.2 自律化戦略プロジェクト

第2次公益経営戦略ビジョンにおいて掲げる「まちづくりのベストパートナー」を目指し、「連携と共創」による質の高い多様なサービスや事業の展開を財団の強みとして推進していくため、各施設から職員を選抜して「自律化戦略プロジェクトチーム」を立ち上げました。自律化戦略プロジェクトでは、各施設の得意分野を結集し、単独では実施することが困難な事業を職員の連携により実施し、新たな市民サービスに繋げていきます。

(1) 事業

「秘密基地でサバイバル～ミッションクリアで大脱出～」では、秘密基地の作成を通して子どもの自主性を育むとともに、防災に関連したミッションをクリアしていく体験を通して、防災に関する知識を学べる事業を実施します。

「父の日」に開催する「パパフェス in とよた」では、日頃父親に感謝の気持ちを伝える機会が少ない子どもたちに、事業を通じて感謝の気持ちを父親に伝えことで家族の絆を深める事業を実施します。

(2) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内容	事業区分
秘密基地でサバイバル～ミッションクリアで大脱出～	6月1日～2日	50人	子どもたちが秘密基地を作りながら、防災に関するミッションをクリアし、防災に関連する知識を学ぶことができる事業を実施する。	体験活動等 自主
パパフェス in とよた	6月16日	500人	「父の日」にあわせ、子どもたちが父親と触れ合う機会の提供と家族の絆を深める事業を実施する。	体験活動等 自主

合計

事業総合計	2事業	550人	
-------	-----	------	--